

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	モーツァルト・コンサート2007～晩秋くつろぎの夕べ～			
目的・内容	音楽の本場ウィーンから世界一流のオーケストラ、ウィーン・フィル・ハーモニー交響楽団のコンサートマスター、ウェルナー・ヒンク氏など3名を招き、世界一流の音楽を県民に提供する。今回の演奏会では、鳥取・米子の2会場で公演し、より多くの方が鑑賞可能とすると共に、日本音楽熟成協会と協力することによってクラシック愛好家の拡大を図る。 【使命】文化人口の拡大とレベルアップ 【事業計画の柱】企業との協働事業の推進 【内容】ウィーン・フィルのコンサートマスター、ウィルナー・ヒンク率いるピアノ三重奏団			
開催日時	平成19年11月24日(土)・25日(日) 16:00開演			
会場	24日(土)鳥取市民会館 25日(日)米子市公会堂			
入場料・参加費 友の会	S席 4,200円 (設定なし)	A席 3,700円 (設定なし)	(当日500円増)	
集客状況	入場者数 【鳥取公演】700人 【米子公演】814名	設定席数 【鳥取公演】1,128席 【米子公演】1,120席	集客率 【鳥取公演】62% 【米子公演】73%	
事業費状況	予算額	収入 228,000円	支出 659,000円	収支比率 35%
	決算額	収入 148,120円	支出 234,275円	収支比率 63%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてクラシックコンサートに来ましたが、生音の素晴らしさに感動しました。ありがとうございました。(米子公演)</li> <li>・疲れが癒されました。とてもリラックスし、明日からの意欲がわいてきました。(米子公演)</li> <li>・客のレベルが低すぎる。楽章の間で拍手したり、途中で前の席から帰ったり。こんなことを続けていけば演奏者は山陰にもうこなくなるだろう。(鳥取・米子公演)</li> <li>・アンケールとしてまとまりが感じられない。ピアノがひびいている印象。全体に表現がフラット。(鳥取公演)</li> <li>・案内の人が大変親切に対応していたので良かった。(米子公演)</li> <li>・冬季は積雪などで車で来場ができません。冬の期間は、できれば昼の公演があればいいのですが。(米子公演)</li> </ul>			
1次評価 (内部)	<p>【成果】</p> <p>①アンケート結果からも、今回初めてクラシックのコンサートに来場した方が多く、今までクラシック音楽に触れることの少なかった層の掘り起こしができた。</p> <p>②質の高い内容のコンサートで、会場に来られた人の満足感が高かった。</p> <p>③マスコミとの共催ということで、一般の顧客への告知が十分にされたという点で非常に有意義であった。</p> <p>【課題】</p> <p>①新規観客はとらえたものの、催事が多い中での開催だったため、観客動員数に伸び悩んだ。</p> <p>②40回以上の露出に対して2回の公演とも満席にならなかったことを考えると、メディアでの宣伝の限界と、文化人口の母数の不足という現実が見えてくる公演となった。</p>			
2次評価 (財団評議員)	<p>【成果】</p> <p>①クラシック愛好家と思われる年配の方から、恐らく楽器をしていると思われる子どもまで年齢層も幅広く、米子では機会の少ない一流のクラシック演奏を聴く事によって、レベルアップに繋がったと思われる。即効性はなくても、こういった事業の積み重ねで、少しずつでも確実に文化人口は拡大する。</p> <p>②音楽関係者・団体のみならず、民間企業をもターゲットに入れた戦略は効果的だと思う。</p> <p>【課題】</p> <p>①次回のニーズに結びつけるプロセスが必要だと思う。客層の少なさも関係してか、単発的公演の感がある。</p> <p>②途中での退席者が気になった。途中退席者用の席をたとえば、2階に作り目障りを避ける工夫が必要ではないか。</p> <p>③クラシック人口・顧客の増加はどうすれば良いかについて継続的検討にとどまり具体的提案がなされていないので、その後の検討結果に期待。</p> <p>④学童、生徒、学生などへの普及のチャンスを逃しているのではないかと危惧される。</p>			
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期の調整を綿密に行う。</li> <li>・自由空間などで掘り起こした観客層をどのようにホールで行う演奏会へ足を運ばせることができるか、鑑賞者を育成するという視点と戦略を検討していく。</li> <li>・マスコミ共催のメリットを活かすために、県民の方々に如何に関心を持って貰うか、関心を呼び覚ますか、その上で会場まで足をこぼす動機付けが出来るかを検討する。</li> </ul>			